

平成24年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校5年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)		数と計算 5年	A(3)イ 小数×小数	小数×小数の計算ができること。			○		○	
②		(2)		数と計算 5年	A(3)イ 小数÷小数	小数÷小数の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と計算 5年	A(4)ア 分数と小数の関係	分数を小数に表すことができること。(経年比較問題)			○		○	
④		(4)		数と計算 5年	A(2)ア 小数の記数法	小数において、数の相対的な大きさについて理解していること。				○	○	
⑤		(5)		数量関係 4年	D(2)ア 四則の混合した式	計算の順序についてのきまりにしたがって計算することができること。			○		○	
⑥	2	(1)	ア	数量関係 5年	D(2) 数量の関係を表す式	具体的な場面の数量の変化を表に表し、その中の規則性を求めることができること。			○		○	
⑦			イ	数量関係 5年	D(2) 数量の関係を表す式	具体的な場面の数量の関係を、□や○を使った式で表すことを考えることができること。		○				○
⑧			ウ	数量関係 5年	D(2) 数量の関係を表す式	数量の関係を表した式から、具体的な場面の数値を求めることができること。			○		○	
⑨		(2)	ア	量と測定 4年	B(1)イ 面積の求め方	複合図形の面積を求める方法を、式と図を関連付けて、考えることができること。		○				○
⑩			イ	量と測定 4年	B(1)イ 面積の求め方	複合図形の面積の求め方を工夫して考えることができること。		○				○
⑪	3	(1)	ア	数と計算 4年	A(2)イ 概数の意味	概数の意味や四捨五入について理解していること。				○	○	
⑫			イ	数と計算 4年	A(2)ウ 四則計算の結果の見積もり	具体的な問題の場面で、目的に応じて差を概数で見積もりを用いようとしていること。	○					○
⑬		(2)	ア	量と測定 5年	B(2)イ 体積	直方体の容積を求めることができること。			○		○	
⑭			イ	量と測定 5年	B(2)イ 体積	直方体の辺の長さに着目しながら、示された箱に隙間なく詰められる直方体の組み合わせを考えようとしていること。	○					○
⑮		(3)	ア	図形 4年	C(2)ア 直方体	直方体の見取図の面や辺の位置関係を基に、展開図における面や辺の関係を考えることができること。		○				○
⑯			イ	図形 4年	C(2)ア 直方体	直方体の底面の位置関係を理解していること。				○	○	
⑰	4	(1)		数と計算 5年	A(1)イ 倍数	倍数の意味を理解していること。				○	○	
⑱		(2)		数と計算 5年	A(1)ア, イ 偶数, 倍数	偶数や倍数の意味をもとに条件に当てはまる数値の選び方を考えることができること。		○				○
⑲	5	(1)		図形 5年	C(1)イ 合同	合同な三角形をかくための条件を理解していること。				○	○	
⑳		(2)		図形 5年	C(1)イ 合同	合同な三角形をかくための条件を用いて、合同な四角形のかき方を考えることができること。		○				○